

高齢者にやさしい店ニュース

第17号 令和8(2026)年1月

やさ店
ホームペー^ジ



「認知症と向き合う～あなたが、家族が、認知症になつたら～」を開催しました。

11月6日、京都工芸繊維大学において左京健康講座2025が開催されました。認知症専門医の松本一生先生による表題講演と、さきよう認知症にやさしい地域づくり部会による「左京区における認知症の取組について」の講話がありました。

松本先生は、日々の診療に加え、ご自身が当事者家族であった経験もあり、両方の視点からユーモアを交えてお話され、1時間の講演があつという間に感じられました。約150名の市民が熱心に聴講し、多くの気づきや学び、勇気をもらつたというご意見をいただきました。

また、「高齢者にやさしい店」の事業や、認知症かかりつけ医、認知症初期集中支援チームなど、左京区の取組についても紹介しました。



左京区民ふれあいまつり(11月30日開催)

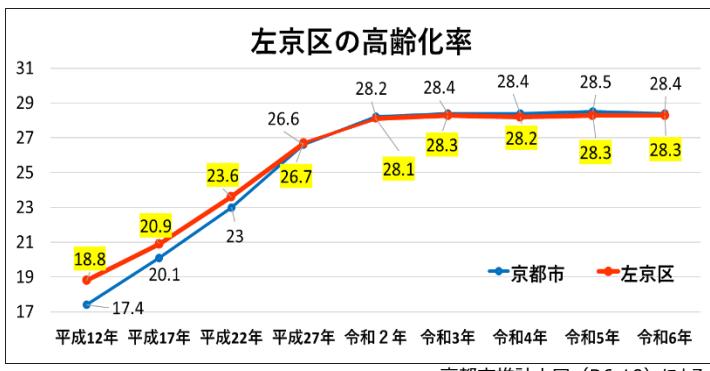
認知症啓発ブースでは、「高齢者にやさしい店パネル展示」、「相談コーナー」のほか、「災害時に利用できる福祉用具の展示」、「防災グッズ作成ワークショップ(紐キーホルダー、新聞紙スリッパ、防災バッグ)」を開催し、のべ約170名が来場されました。



今年のテーマは「防災・減災」

左京区の高齢者の現状

左京区の高齢化率と単身高齢者数は以下の通りです。また、京都市の認知症高齢者は2025年では約86,000人、2040年には約11万人（高齢者の4人に1人）と推計されています。京都市では、誰もが暮らしやすい地域共生社会の実現を目指しています。



京都市印刷物 第071834号 令和8年1月発行

【発行元】京都市左京区役所 健康長寿推進課 TEL.075-702-1219

新しいステッカーの
ご要望はこちらまで